

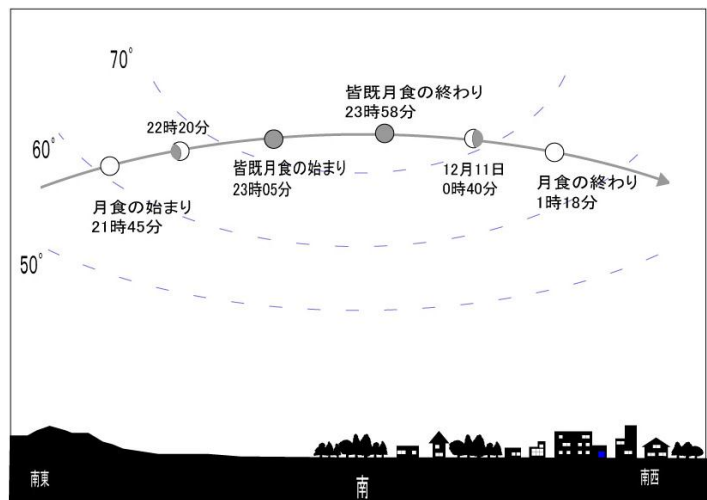
皆既月食

12月10日～11日にかけての深夜に、半年ぶりに月がすべて地球の影に入る皆既月食が見られます。

月食は、地球の影に月が入っていく現象ですが、地球の影の中は真っ暗ではありません。地球の大気を通った太陽光のうち、赤い光だけが影の中に回り込み、月を照らすので皆既中の月は赤黒く見えます。

前は今年の6月16日の明け方に月が西に傾いていく時、月食が始まり、その後、西に没する様子が見られるはずでしたが、あいにく天気が悪く、雲をとおして、ぼんやり月が欠けている様子が見えただけでした。

しかし今回は、月食の始まりが午後9時45分、皆既の始まりが11時5分、皆既の終わりが11時58分、月食の終わりが11日の午前1時18分となっており、始めから終わりまですべて見られる大変条件の良い月食です。しかも月の見上げる高さが高いため、ほぼ真上で起きているように見えます。



12月10日～11日の月の位置

また、月が欠けて行くにしたがって、空の明るさが変わっていく様子を見ることができると思われます。始めは満月が、こうこうと輝いているために明るい星しか見えませんが、皆既月食になると、月は暗くなるので、月がない時の夜空とあまり変わらないくらいたくさんの星が見えます。この変化はなかなか感動的です。

この皆既中の明るさも、その時の地球の大気のごり具合で、月食のたびに違う場合があるとされており、それに注目して月食を見るのも楽しいかもしれません。なお、その次に富山で見られる皆既月食は2014年10月8日です。

(2011年11月 布村克志)